

はじめに

2002年10月15日から18日まで、110の国と地域から3,113名の参加者を迎え、3,300名の市民ボランティアを含め、多くの方々の支援により、国内外から高い評価を受け、成功のうちに終了した「第6回DPI世界会議札幌大会」（以下、DPI札幌大会）開催から4年半以上が過ぎた。

DPI札幌大会の準備過程において、私たちは、大会の成功は、当然であるが、併せて「大会までになにをつくり、大会後になにを残すか？」「大会を単なるイベントに終わらせない。」ことも目標としてきた。

そして大会が終了した翌年の2003年10月17日に「2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会」（以下、組織委員会）及びDPI札幌大会に参加した道内の障害当事者が中心となって、「DPI北海道ブロック会議」（以下、DPI北海道）を設立した。設立総会ではDPI北海道としてDPI札幌大会最終日に採択された「障害者権利条約」（以下、権利条約）と「障害者差別禁止法」（以下、差別禁止法）の制定などを求めた「札幌宣言」の実現と地域における障害者に関する制度・政策提言などの活動方針を確認した。

これは、大会開催地である北海道における、あらたな運動のスタートであり、DPI北海道のこれからの活動の方向性を確認するものであった。

また、2006年12月13日の第61回国連総会においては、約5年間に及ぶ議論を経た権利条約は、全会一致で採択され、2007年3月には、82カ国が署名している。そして、2007年9月5日から8日には、この権利条約を中心としたプログラム内容で、「第7回DPI世界会議韓国大会」が開催される。

なお、2006年度は、DPI北海道のホームページのアクセシビリティ化に関して、NPO法人イー・エルダーが主催した「第2回NPOアクセシビリティ支援プログラム」の助成とNPO法人札幌チャレンジドのコンサルティングにより、障害者や高齢者でも容易にアクセスできるように2007年1月にリニューアル（改修）した。

障害者権利法制について

2006年12月に国連総会において成立した権利条約は、「前文」と「総則（第1条～9条）」、「個別規定（第10条～30条）」、「実施規定（第31条～40条）」、「最終条項（第41～50条）」から構成されている。

内容としては、権力に対して人々の自由を保障するとともに差別や排除を禁止する「自由権」と人々の人権と尊厳を守るための制度や仕組みの確保を求める「社会権」を併せ持っている。更に直接的な差別行為以外にも障害者に必要な合理的配慮の提供等を拒否した場合も差別と定義している。そして、この条約内容を最低基準とするなど、この条約を根拠として、国際障害者年(1981年)に提唱された障害者の「完全参加と平等」の実現に向けた取り組みが強化されることが期待できる。

しかし、世界の障害者の悲願であり歴史的な意義をもつこの条約も、各国の障害者一人ひとりへの浸透は不十分であり、障害者の現実の生活に、どのような影響を与えるかも未知数である。

今後は、この条約を根拠として日本の障害児・者の生活実態を検証し、その改善を図るための差別禁止法の制定に向けた取り組みの推進がDPI日本会議の重点課題として2007年度の活動方針に明確にされていることから、私たちもこの方針に基づき、北海道での運動を進めていくこととする。

また、千葉県では2004年以降、県民に向けた差別事例の募集と公募を中心とした委員による研究会での討議を経るとともに、タウンミーティングを積み重ねた。そして、2006年2月に県議会で審議不十分として継続審議になった「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例案」は、県が自民党の指摘に応じて原案を、一旦撤回し、その後、議会に設置された「健康福祉常任委員会協議会」で再検討が進められ、同年10月11日の定例県議会本会議において成立している。

DPI北海道としては、権利条約の批准と国内法の検証及び差別禁止法制定等の障害者の権利法制の確立に関しては、DPI日本会議及び日本障害フォーラム（JDF）の方針のもとで運動を進める。また、地域の取り

組みとしては、千葉県に続く「障害者差別禁止条例」制定に向けた活動を継続していくこととする。

障害者自立支援法と障害者の地域生活の確立について

2005年4月から障害者の地域生活と自立支援を基本理念とした障害者自立支援法（以下、自立支援法）が施行され、新たな利用者負担の導入が始まった。そして10月からは新たな障害程度区分判定や施設事業体系見直しによる新基準・新報酬も設定され、自立支援法は本格的にスタートした。

しかし、基準・報酬や減免手続き、地域生活支援事業の内容等についての国の制度策定が遅れ、その影響により、地方自治体の準備作業も遅れが続き利用者やサービス提供者へ大きな影響が生じてきた。そして完全実施後2カ月を経過することなく、12月には、利用者負担の上限額を1／4にするなどの緊急対策が示された。しかし、所得保障や必要なサービス量や地域基盤の確保についての解決策は示されていない。

北海道においては、2005年度以降、DPI北海道が事務局団体を担っている「障害者自立支援法に地域の声を届けよう実行委員会」として道内の関係団体とともに、DPI日本会議及び全国大行動実行委員会の行動方針に基づき取り組みを進めている。

2006年度の具体的活動としては、他団体と連帯して実施した「高齢者・障害者110番」（5月）をはじめ、DPI北海道総会記念イベント（6月）を開催した。また、実行委員会の意志決定機関である「自立支援法対応会議」は、2006年度だけで26回開催している。その会議での確認に基づき行政への「要望・意見書」提出と「意見交換会」の開催（5～6月）、街頭行動とデモ（10月）、道内選出国会議員との「個別意見交換会」の開催（11月）とその議員全員を招いて「シンポジウム」を開催（12月）した。また、札幌弁護士会主催の「自立支援法110番」（3月）にも協力した。

特に10月28日は、自立支援法が衆議院で採択された日であり、東京での全国大行動を直前にしたこともあり、大通公園（札幌市中央区）には、これまでで最大規模の500名を超える障害当事者及び関係者が集まり街頭集会とデモを実施した。

他にも今年4月の統一地方選を前に「投票へ行こうキャンペーン、2007」として「介護体験セミナー」を開催し、北海道知事と札幌市長及び議員候補予定者への参加呼びかけや「アンケート調査」を実施した。

更に投票所へ行くことが困難な障害者等に送迎ボランティアを派遣した。この取り組みは、引き続き今年7月の参議院選挙へも繋げていくことを確認している。

「札幌市障がい者による政策提言サポーター会議」への参加

「障がい者による政策提言サポーター制度」は、札幌市の上田市長の政策方針「さっぽろ元気ビジョン」（2003年）に掲げられている「市民自治が息づくまちづくり」の方策の一つとして創設されたものであり、DPI北海道関係団体からサポーター委員として参画している。

この制度は、障害者の思いや考えを、同じ立場で共有することができる当事者が、障害者の意見の聞き取り役や取りまとめ役となって政策提言を行うことにより、障害者の意見を市政に反映させることを趣旨とし、第1期サポーター委員の委嘱は2003年12月に行われた。2005年12月19日から、第2期サポーター委員が委嘱されている。

この制度は、聞き手となるサポーターと意見を述べる障害者とその家族等により、あらかじめ設定したテーマに基づく懇談会（参加者の募集は、「広報さっぽろ」及び各区役所に案内チラシを配備し自由参加）を2ヵ月に1回程度開催することと毎月1回程度、市役所に会場を設定し、障害者などが直接、サポーターに意見を伝える意見聴取を個別実施しており、DPI北海道からも要望及び提案書を提出している。

サポーターはこれらに寄せられた意見をもとに調整会議を行い、ここでの議論を経て政策提言書をまとめ、例年9月頃に市長に提出し、翌年4月に提言書の取組状況等について市民に公表することになっており、2006年度については2007年1月に提言書を市長に提出し、2007年の5月に札幌市の取組状況が発表された。

このサポーターは、市長選出6名と公募の6名の合計12名で構成し、2年間の任期（第2期：2005年12月～2007年12月）となっており、懇話会のテーマ選定や当日の進行など、サポーターが自主的に運営している。

DPI北海道は、当事者参加と主体、そして政策提言をその活動の基本としていることから、この制度を支持するとともに、DPI北海道の理事でありサポーターである当事者との連携した対応を今年度も引き続き進めていくことが必要である。

障害児・者施策推進に関する要望及び意見書の提出について

公共交通機関及び旅客施設等のバリアフリーを推進する「交通バリアフリー法」と病院や宿泊施設等の公共建築物等のバリアフリーを推進する「ハートビル法」が統合されて「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」が2006年6月に成立した。新法では、各自治体は地区ごとの基本構想を、障害者を含む住民等からの意見を踏まえて作成すること。自治体の施設改善命令に従わない場合の罰金上限額の引き上げなどが盛り込まれている。

しかし、数値的な基準だけでは障害者が安心して暮らすことのできる「まちづくり」の基準としては、不十分であることが2006年12月8日に明確になった。

それは、札幌市営地下鉄琴似駅の地下1階のエレベーター出入口横の階段踊り場における電動車いす使用者の転倒死亡事故であった。この事故は、DPI北海道の関連団体が運営する福祉ホームに入居されている電動車いす使用者が地下鉄（琴似）に乗りようとして札幌市営地下鉄駅エレベーターを利用して地上から地下改札へと向かう際に、エレベーターを後ろから降りて方向転換をしようとしたときに隣接する階段の踊り場に転倒し頭部を強打し救急車で搬送されたが、翌日、亡くなられた事故であった。

その後、当該団体との連携と障害者団体への呼びかけを実施して札幌市交通局との交渉に入り、緊急措置として事故現場の階段出入口への転落防止策として車輪止めの設置を要請して実現した。その後は、段差そのものを解消し、地下鉄全駅の安全面の点検を札幌市交通局と実施した。今後は、当事者及び当事者団体としてこうした施設等の日常的な検証と情報収集及び適切な対応をしなければならない。

また、その他の要望等の活動については、札幌市へ「介護給付費（平成18年5月請求分）の支払予定時期遅延に関する緊急質問書」（7月）、道及び北海道運輸局等へ「精神障害者の交通費割引制度の適用について」（11～12月）、道へ「新しい総合計画策定に係る企業等意向調査」（5月）、北海道教育委員会へ「特別支援教育在り方検討委員会意見」（8月）、警察庁に「駐車規制及び駐車許可制度の運用の見直しの概要について」（1月）等のパブリックコメントを提出している。

おわりに

DPI運動の原点は、「我ら（障害者）自身の声」を発し行動していくことである。様々な制限と制約と差別を受けてきた障害当事者の声と行動は、その地域や社会が多くの人々にとって住みよい環境を創りだすための羅針盤としての役割を果たしていると私たちは信じている。

今の日本は、格差が肯定され、一部の人々が富むことによって社会全体が維持される弱肉強食の社会へと変化していきっている。しかし、私たちは、そうした弱肉強食の格差社会ではなく、障害の有無やそれぞれのルーツや属性等によって差別されることなく、誰もが一人の人間として尊重され、一人ひとりが安心して安全に暮らすことのできる社会の実現を願っている。

それは単純に「努力した人、頑張った人が報われる社会」という構図ではなく、権力や富や地位に関わりなく「すべての人々を等しく価値ある存在として受けとめる社会」であり、「一人ひとりの人権と尊厳が尊重される共生社会」の実現である。

私たちは、DPI日本会議の初の地方組織として、こうした理念に基づき、今後の活動を展開することを確認するとともに、昨年度の具体的な活動状況を以下の別表のとおり報告する。

1 組織活動

(1) 第7回D P I 世界会議韓国大会開催支援[ソウル](2007年9月5～8日開催)

- ・ 学習会講師[ソウル](7月8～9日滞在)
- ・ 日本参加者宿泊施設視察[ソウル](3月31～4月1日滞在)

(2) DPI日本会議関連について

① 第22回DPI日本会議全国集会大阪大会[堺市：国際障害者交流センタービッグアイ](6月11～12日)

ア. 総会

- ・ 議案：2003年度活動報告及び決算
- ・ 関連報告：2004年度活動方針ならびに予算等の報告

イ. 全体集会

- ・ 特別報告「第7回DPI世界会議韓国大会と障害者運動の展望」
報告者 イ・イクソプ氏（韓国DPI会長・延世大学教授）
- ・ 分科会1「地域生活支援」
- ・ 分科会2「交通・まちづくり」
- ・ 分科会3「権利擁護」
- ・ 分科会4「教育」
- ・ 特別分科会1「命の重さを問う」
- ・ 特別分科会2「地域生活」

② DPI日本会議常任委員会（2ヵ月1回開催）

- ア. 2005年度第5回会議開催[東京：新宿区立障害者福祉センター・神田公園区民館]（4月15～16日）
- イ. 2006年度第1回会議開催[堺市：国際障害者交流センタービッグアイ](6月11日)
- ウ. 2006年度第2回会議開催[東京：新宿区立障害者福祉センター]（8月12～13日）
- エ. 2006年度第3回会議開催[東京：新宿区立戸山社会教育会館]（10月21～22日）
- オ. 2006年度第4回会議開催[東京：全国心身障害児福祉財団・戸山サンライズ]（11月25～26日）
- カ. 2006年度第5回会議開催[東京：麴町区民館・神保町区民館]（2月10～11日）

③ DPI日本会議役員会議（2ヵ月1回開催）

- ア. 2005年度第6回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（5月21日）
- イ. 2006年度第1回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（7月22日）
- ウ. 2006年度第2回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（9月24日）
- エ. 2006年度第3回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（11月19日）
- オ. 2006年度第4回会議開催[名古屋市：AJU自立の家]（12月23日）
- カ. 2006年度第5回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（3月4日）

④ 事務局会議（必要に応じて常任委員会及び役員会に併せて開催）

- ア. 会議開催[東京：DPI日本会議事務局](5月20日)
- イ. 会議開催[東京：DPI日本会議事務局](7月21日)
- ウ. 会議開催[東京：DPI日本会議事務局](9月24日)

⑤ 「障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動」実行委員会

- ア. 出直してよ！「障害者自立支援法」10.31大フォーラム[厚生労働省・日比谷公園](10月31日)
- イ. 第1次「障害者自立支援法に関する緊急要望書」署名438,004筆提出[厚生労働省]（12月12日）

- ウ. 人間として誇りと希望を持って生きていきたいシンポジウム[憲政会館大会議室](1月31日)
- エ. 厚生労働省前集会&交渉[厚生労働省](2月1日)
- オ. 第2次「障害者自立支援法に関する緊急要望書」署名154,512筆提出[厚生労働省](3月6日)

(2) DPI北海道ブロック会議関連について

① 第5回DPI北海道ブロック会議通常総会&記念イベント[札幌市身障福祉センター](6月24日)

- ・ 報 告：第22回DPI日本会議総会について
- ・ 議 題：05年度活動経過報告、決算及び監査報告・06年度事業計画、予算及び役員体制各案等
- ・ 記念イベント

記念講演「障害者自立支援法施行と私たちへの影響」

講 師：尾 上 浩 二 氏 (DPI日本会議事務局長)

シンポジウム「障害者自立支援法施行にともなう現状と課題」

シ ン ポ ジ ス ト：竹 田 保 氏 (NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター代表)

光 増 昌 久 氏 (知的障害者更生施設 松泉学院施設長)

尾 上 浩 二 氏 (NPO法人DPI日本会議事務局長)

竹 林 経 治 氏 (北海道保健福祉部福祉局障害者保健福祉課長)

阿 部 裕 雄 氏 (札幌市保健福祉局保健福祉部障がい福祉課)

コーディネーター：西 村 正 樹 (DPI北海道ブロック会議議長)

② DPI北海道ブロック会議理事会(2ヵ月1回開催)

- ア. 2005年度第4回会議開催[ほくろうビル](5月13日)
- イ. 2006年度第1回会議開催[札幌市身障福祉センター](6月24日)
- ウ. 2006年度第2回会議開催[北海道自治労会館・リンケージプラザ](10月14～15日)
- エ. 2006年度第3回会議開催[北海道自治労会館](12月16～17日)
- オ. 2006年度第4回会議開催[かでる2・7](3月25日)

③ DPI北海道ブロック会議事務局会議等

- ア. 会計事務打合せ[ほくろうビル](4月4日)
- イ. 会計事務打合せ[ほくろうビル](5月17日)
- ウ. 会計事務打合せ[ほくろうビル](5月23日)
- エ. 会計事務打合せ[ほくろうビル](5月31日)
- オ. 監査[ほくろうビル](6月8日)
- カ. 監査[ほくろうビル](6月12日)
- キ. 会計事務打合せ[棟税理士事務所](6月26日)
- ク. 会計事務打合せ[ほくろうビル](7月5日)
- ケ. 会計事務打合せ[ほくろうビル](11月8日)

④ 障害者自立支援法に地域の声を届けよう北海道実行委員会(障害者自立支援法対応会議)

- ア. 第13回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](4月18日)
- イ. 第14回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](4月26日)
- ウ. 要望・意見書提出及び報告[北海道・札幌市・札幌市議会各会派](4月28日)
- エ. 石崎衆議院議員面談[NPO法人イコール事務所](4月29日)
- オ. 要望・意見書提出報告[北海道議会各会派](5月2日)
- カ. 第15回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月9日)
- キ. 高齢者・障害者110番[北海道社会保障推進協議会事務所](5月16日)
- ク. 北海道との意見交換会[北海道庁](5月30日)

- ケ. 札幌市との意見交換会[札幌市役所](6月1日)
- コ. 第16回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月13日)
- サ. 第17回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月6日)
- シ. 第18回会議開催[大通公園西5丁目](7月24日)
- ス. 第19回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月9日)
- セ. 第20回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月29日)
- ソ. 第21回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月6日)
- タ. 札幌市へ要望書提出及び市議会依頼行動[札幌市役所](9月5日)
- チ. 第22回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月13日)
- ツ. 札幌市長との面談[札幌市役所](9月14日)
- テ. 第23回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月27日)
- ト. 北海道へ要望書提出[札幌市役所](10月6日)
- ナ. 第24回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](10月12日)
- ニ. 第25回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](10月17日)
- ヌ. 障害者自立支援法に地域の声を届けよう街頭行動&デモ[大通公園西8丁目広場等](10月28日)
- ネ. 第26回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月1日)
- ノ. 石崎 民主党衆議院議員・厚生労働部会長意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](11月4日)
- ハ. 逢坂 民主党衆議院議員意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](11月5日)
- ヒ. 風間 公明党参議院議員意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](11月5日)
- フ. 紙 共産党参議院議員意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](11月11日)
- ヘ. 第27回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月14日)
- ホ. 第28回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月24日)
- マ. 障害者自立支援法に地域の声を届けようシンポジウム[札幌市身障福祉センター](12月2日)
- ミ. 第29回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](12月11日)
- ム. 第30回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](12月20日)
- メ. 第31回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月12日)
- モ. 第32回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月23日)
- ヤ. 第33回会議開催[道庁別館](2月1日)
- ユ. 第34回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月6日)
- ヨ. 「(仮称)北海道障害福祉計画案」に関するパブリックコメント提出(2月9日)
- ラ. 「(仮称)札幌市障がい福祉計画」に関するパブリックコメント提出(3月6日)
- リ. 第35回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月20日)
- ル. 投票へ行こうよキャンペーン,2007第1弾 介護体験セミナー(2月24～28日)
- レ. 第36回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月6日)
- ロ. 第37回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月13日)
- ワ. 第38回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月20日)
- ヲ. 投票へ行こうよキャンペーン,2007第2弾 札幌市長&市議会議員候補予定者アンケート調査(3月)
- ン. 投票へ行こうよキャンペーン,2007第3弾 移動制約者への送迎ボランティアの実施(3月)

⑥ 札幌市障がい者による政策提言サポーター会議（第2期）

- ア. 懇談会（今年度は2回14:00～16:00）
 - ・第1回懇談会〔内容：平成17年度提言書に対する札幌市の取り組み状況について：市視聴覚障がい者情報センター〕（5月15日）
 - ・第2回懇談会〔内容：障害者自立支援法がスタートして：市視聴覚障がい者情報センター〕（7月29日）
- イ. 意見聴取
 - ・第1回〔市役所本庁舎〕（4月26日）

- ・第2回〔厚別区民センター〕（6月28日）
- ・第3回〔東区体育館〕（8月25日）

ウ. ワーキング会議等

- ・全体会議〔市視聴覚障がい者情報センター〕（8月14日）
- ・第1回ワーキング会議〔市視聴覚障がい者情報センター〕（9月11日）
- ・第2回ワーキング会議〔市視聴覚障がい者情報センター〕（10月6日）
- ・全体会議〔市身体障害者福祉センター〕（10月26日）

エ. 提言書提出

- ・平成18年度提言書提出（1月10日）

オ. その他

- ・全体会議〔市役所本庁舎〕（3月24日）
- ・区保健福祉課新任者基礎研修へのサポーター講師派遣〔市身体障害者福祉センター〕（5月30日）
- ・サポーターによる厚別区役所訪問（7月28日）
- ・サポーターによる西区役所訪問（8月16日）
- ・サポーターによる北区役所訪問（8月23日）
- ・手稲区保健福祉部職員研修へのサポーター講師派遣（12月8日、11日、14日）

⑦ 札幌市子どもの権利条例制定検討委員会

- ア. 第15回検討委員会〔WEST19〕(4月22日)
- イ. 第16回検討委員会〔WEST19〕(4月27日)
- ウ. 第17回検討委員会〔WEST19〕(4月30日)
- エ. 第18回検討委員会〔STV北2条ビル〕(5月20日)
- オ. 第19回検討委員会〔WEST19〕(5月27日)
- カ. 子どもの権利条例の制定に向けた最終答申書提出（5月30日）

⑧ イラク自衛隊派兵反対訴訟原告団（DPI北海道ブロック会議事務局長参加）

ア. 自衛隊イラク派兵差止等請求訴訟弁論

- ・第11回口頭弁論〔札幌地裁〕(5月8日)
- ・第12回口頭弁論〔札幌地裁〕(7月3日)
- ・第13回口頭弁論〔札幌地裁〕(9月11日)
- ・第14回口頭弁論〔札幌地裁〕(11月20日)

イ. 調査・情宣等

- ・自衛隊家族110番〔札幌〕(4月14日、15日)
- ・全国弁護団・事務局会議〔名古屋〕(6月11日)
- ・全国弁護団連絡会議〔京都〕（8月19日）
- ・イラク派兵差止訴訟全国交流会〔名古屋〕(8月26～27日)
- ・全国弁護団連絡会議〔熊本〕(12月16日)
- ・自衛隊家族110番〔札幌〕(12月13日)

⑨ その他

- ア. 「新しい総合計画策定に係る企業等意向調査」パブリックコメント提出〔北海道企画振興部地域振興・計画局計画室〕(6月7日)
- イ. 特別支援教育に関するパブリックコメント提出〔北海道教育庁〕（8月11日）
- ウ. バリアフリー新法パブリックコメント提出〔国土交通省〕(8月17日)
- エ. 障害者権利条約と障害者の政治参加を考える集い〔札幌市社会福祉総合センター〕(11月3日)

2 広報、啓発、調査等事業

(1) DPI日本会議機関誌、「ほっかいどうの介護」等への寄稿

- ① 機関誌 DPI Vol122.1 2006年6月発行
- ② CARE MAGAZINE「ほっかいどうの介護」2006年7月号
- ③ 機関誌 DPI Vol122.2 2006年8月発行
- ④ CARE MAGAZINE「ほっかいどうの介護」2006年9月号
- ⑤ 月間きょうされんTOMO 2006年10月号 NO.318
- ⑥ 機関誌 DPI Vol122.3 2006年11月発行
- ⑦ 機関誌 DPI Vol122.4 2007年1月発行

(2) ホームページの充実と情報提供

① 第2回NP0アクセシビリティ支援プログラム申請

<趣旨>

本プログラムは真のノーマライゼーション社会の実現に非営利団体を対象に、障害者や高齢者でも容易にアクセスできるホームページのアクセシビリティ化に必要な資金助成と技術的な支援を行う。

- ・ 助成申請(7月20日)[主催団体：NP0法人イー・エルダー]
 - ・ 授賞式への出席(10月12日)[東京：NTTPCコミュニケーションズ本社]
 - ・ ホームページ作成・修正作業完了(1月31日)
 - ・ 成果発表会出席・インフォ・クリエイツ協賛受賞(2月28日)[東京：毎日ホール]
 - ・ webアクセシビリティ技術向上・普及啓発研修会参加(3月29～30日)[東京：NTT麻布セミナーハウス]
- ② ホームページ更新 17回
 - ③ メーリングリスト・メール、FAXによる各種情報提供 176回

(3) 講演会、諸会合への講師・来賓出席等

- ① 連合北海道ボランティア・サポートセンター結成総会[北海道教育会館](4月22日)
- ② 第25回障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会総会[5月28日](札幌市東区民センター)
- ③ 札幌市立大学開学記念式典[札幌国際コンベンションセンター](6月18日)
- ④ 第22回精神障害者回復者クラブ連合会総会[札幌市社会福祉総合センター](7月2日)
- ⑤ 題56次合同教育研究全道集会「教育実践セミナー特別支援教育」[千歳市民文化センター](10月27日)
- ⑥ 障がい者の雇用・就労促進セミナー[北大医学部臨床大講堂](1月13日)

(4) 会費納入促進と賛助会員の募集及び拡大について

正会員 23団体 未来会員 9名 賛助会員(団体) 11団体 賛助会員(個人) 17名

2007年3月末日現在

3 共催、協賛、後援、協力等事業

- (1) 2006年度第1回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](4月8～9日)
- (2) STS・移動支援セミナー2006[かでの2.7](5月12日)
- (3) 2006年度第2回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](5月13～14日)
- (4) 第10回一般公開講座「前へ疾走する若者たち」[札幌市社会福祉総合センター](5月13～14日)
- (5) 第24回全国要約筆記問題研究集会in札幌[札幌コンベンションセンター](6月10日～11日)
- (6) 2006年度第3回移送サービス運転協力者講習会[道立心身障害者総合相談所等](6月24～25日)
- (7) 障害者にやさしい北海道の旅「ぐるっと胆振自然満喫深呼吸」[苫小牧アルテン](7月13～15日)
- (8) 第10回ヨットエイド北海道[石狩湾新港](7月16日)
- (9) 2006年度第4回移送サービス運転協力者講習会[サッポロさとらんど](7月22～23日)

- (10) 札幌げんき祭り[中島公園](8月5～6日)
- (11) 2006年度第5回移送サービス運転協力者講習会[道立心身障害者総合相談所](8月26～27日)
- (12) 全国自立生活センター協議会事務局長来道セミナー(8月26～27日予定)
- (13) アン・マーリット・セーボネス氏講演会[エルプラザ](8月30日)
- (14) 第23回共同連全国大会in北海道[札幌サンプラザ](9月9～10日)
- (15) 第9回NP0法人全国精神障害者団体連合会・全国大会浦河大会[浦河町総合文化会館・浦河ウェリントンホテル](9月21～22日)
- (16) JTBバリアフリーのまちづくり体験学習[札幌市中心部](9月26日)
- (17) 2006年度第6回移送サービス運転協力者講習会[札幌千代田ビル・ポルト](9月30日～10月1日)
- (18) 教育基本法改悪反対・「改正案」廃案をめざす全道集会[大通西6丁目広場](10月25日)
- (19) 2006年度第1回福祉有償運送(セダン車両)講習会[札幌千代田ビル](10月27日)
- (20) 2006年度第7回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](10月28～29日)
- (21) 平成18年度人権啓発フェスティバル障害者人権フォーラム[かでる2.7](11月4日)
- (22) コンサドーレ札幌応援ツアー[札幌ドーム](11月23日)
- (23) 国土交通大臣認定第1回移送サービス運転協力者講習会[札幌千代田ビル・ポルト](11月25～26日)
- (24) 国土交通大臣認定第2回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](1月13～14日)
- (25) 障害者権利条約セミナー[かでる2.7](1月22～23日)
- (26) 国土交通大臣認定第3回移送サービス運転協力者講習会[札幌千代田ビル等](2月9～10日)
- (27) 市民救急患者搬送セミナー[札幌市北区民センター](2月10日)
- (28) 第9回障害者・高齢者が歩く雪中デモ行進講演会・シンポジウム[西区民センター他](2月17日)
- (29) 国土交通大臣認定第4回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](3月2～3日)
- (30) 札幌福祉交通セミナー～北海道の福祉交通のこれから～[ポルト](3月3日)
- (31) 平成18年度北海道ノーマライゼーション推進セミナー[北海道自治労会館](3月9日)
- (32) 障害者自立支援法110番[札幌弁護士会館](3月14日)
- (33) 国土交通大臣認定第5回移送サービス運転協力者講習会[北見](3月17～18日)